

※文字の大きさは Meiryō UI / 12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 217

エントリー学校名：熊本大学教育学部附属小学校

活動名：どんな時も**子供が真ん中**！ ～休校中も子供を伸ばし続ける学校に～

解決すべき課題：

休校期間における①児童の豊かな学びの保障、②児童の生活リズムや体力の維持、学習習慣の確立、③保護者の負担を軽減するサポート体制構築（困り感の早期把握・早期解消）、④「3密」回避のための ICT 活用による教職員間の情報共有及びより実効性の高い研究推進システムの構築

目標・方針：

1 目標 産学官・保護者連携により子供の豊かな学びを進め子供のための実践研究を推進する

2 方針

- ①産学官連携により蓄積した ICT 技術を駆使しハイブリッド型学習支援・研究体制を構築する
- ②休校中の取組全容をタイムラインで整理し視覚化するとともに、諸アンケート評価分析結果を踏まえ取組の成果と課題を精査し、より実効性の高いパッケージシステムづくりに繋げる
- ③取組の検証結果等について報告書にまとめ公表することにより、地域貢献を果たす
- ※ 評価指標：児童・保護者アンケート等（評価・分析は熊大教職員大学院研究室による）

活動内容：取組の全容を**タイムライン**で分かりやすく報告書に整理し、学校ホームページで公表。

- 1 児童の豊かな学びの保障：Zoom + 授業動画配信 + ロイロノート + アナログ教材のハイブリッド型家庭学習システム：先行検証学級を抽出し、全校で実施⇒4～5月430本以上授業動画配信。
*ロイロノート、電話連絡、分散登校日での丁寧なフォローアップを学校総体として実施。
- 2 児童の生活リズムや体力の維持、学習習慣の確立：
- ①毎朝定時の健康観察カード配信、Zoom による朝の会の実施（4年生以上）、学習開始時刻の設定、学習計画表・生活記録表・ICT 関連手順書等をファイリングし事前配付。②教職大学院と連携した運動動画配信、③学校再開後：諸アンケート分析に基づく心身のケアの充実（全学級：スクールカウンセラーによるストレスマネジメント教室・三者教育相談会・ニーズに応じた個別相談会）
- 3 保護者の負担を軽減するサポート体制構築：毎週月曜全戸メールアンケート（ICT 環境・健康状態・困り感把握）⇒即日対応。サポート動画配信。毎週金曜 PTA 代表者 Zoom 会議開催。
- 4 ICT 活用による教職員間の情報共有及び実践的研究維持のためのシステム構築：
- ①Zoom や Microsoft Teams のよさを活かした情報共有システム、校内外研修システムの構築
- ②ICT 活用による働き方改革の推進、在宅勤務管理、実情に応じた柔軟な校務分掌の再編成

活動の成果：

- 備忘録としての報告書は、ジャンル毎に整理した活用度の高いサンプルパッケージ（タイムラインパッケージ、ヘルスサポートパッケージなど全 6 パッケージ）づくりに繋がった。
- 児童の豊かな学びの保障⇒児童アンケート：オンライン授業への非常に高い満足度 ※学年チームで授業動画を作成・配信し、教職員が相互に見合うことにより、若手教職員の授業の質が向上
- 児童の心身のケアの充実⇒ストレス減、不登校の未然防止・解消、学校生活への滑らかな移行
- 保護者サポート体制の充実⇒全 PTA からの意見集約（メールアンケート）：高評価

○ICT を活用した研究の推進⇒他校からの校内研修講師依頼の増加、夏のオンライン実践研修会事前登録者 650 人（前年度比 220%↑）、休校中も YouTube 各教科プレゼン動画で研究推進

アピールポイント（アイディアや工夫）：

- ハイブリッド型学習支援は、緊急時における教育の質を担保し、児童の心身の安定に繋がった。
- 児童支援や心身のケアの充実は、学校生活への順応力を高め不登校の未然防止・解消に繋がった。
- 実情に応じた柔軟な組織編成により、教職員一人一人の知識やスキルをフレームワークづくりに上手く転用し必要な手立てをタイムリーに行うことができた。教職員の意識や指導のベクトルが揃った。

